

令和5年度 鯖江市豊小学校 スクールプラン

学校教育目標 「自ら学ぶ、心豊かで たくましい子どもの育成」

保護者・教師の願い

- ・元気に登校し、友達と仲よくできる子
- ・確かな学力を身につけ、進んで学習する子
- ・自分から明るいあいさつができる子
- ・人とあたたかく接することができる子
- ・自分の思いを表現できる子
- ・より高い目標をもって努力を続ける子

めざす児童の姿

すすんで学ぶ子 心あたたかい子 健康な子

研究主題

自ら考え、認め合い、学び合う子どもの育成
～「わかる」「できる」「チャレンジ」 豊っ子～

めざす教師の姿

- ・子どもを愛し、子どもを鍛える教師
- ・探究心を持ち、学び続ける教師
- ・協力、協働して、ともに進む教師
- ・子どもの笑顔を求める教師

重点目標と具体的取組

「確かな学力」

- ◎基礎学力の定着と情報を正確に読み取る読解力の育成
- ◎授業改善への工夫
- 家庭学習の充実

- ・日常的な読書活動を進める。
- ・新聞を活用した学習を行う。
- ・UD化とICT活用により、「わかる、できる」授業を実践する。
- ・授業のめあてを明確にして見通しをもたせ、児童の主体的な学びを引き出す授業を工夫する。
- ・自分の思いを伝え合い、考えが深まる対話的な授業を構成する。
- ・教科の系統性と横断的・合科的な学習を考慮したカリキュラム編成を行う。
- ・豊っ子家庭学習の手引き、豊っ子学習の約束を徹底する。

- ①「授業がわかる」児95%
- ②「授業のめあてをもって学習した」児95%
- ③「家庭学習にまじめに取り組んだ」児90%
- ④「家庭学習の手引き、学習の約束を守った」児90%

「豊かな人間性」

- ◎認め合い高め合う学級づくり
- ◎道徳性を涵養する教育活動の充実
- 特別支援教育の充実
- 豊かな体験活動や学校行事、交流活動の推進

- ・学級指導や児童会活動を通して、自分から「あいさつ・ありがとう」が言える子を育てる。
- ・道徳教育や人権教育を通して、「命」を大切にする子を育てる。
- ・ポジティブ教育やQUTESTを通して、互いの個性を認め尊重し、居心地のよい学級づくりを進める。
- ・気がかりな児童・保護者に対して、共感的理解と教職員研修を通して、特別支援教育の充実とインクルーシブ教育への理解を進める。
- ・縦割り班活動や異学年・地域交流を取り入れた学校行事を工夫する。

- ①「いつでも、どこでも、誰にでも、あいさつができる」児95%
- ②「学校に行くことは楽しい」児95%
- ③「子どもは楽しく学校に通っている」保95%

「たくましい心と体」

- ◎心身のバランスのよい成長
- ◎いじめ・不登校への未然防止・早期対応・自立支援
- 体力の向上、保健安全教育の充実

- ・家庭と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」（食育）や「スマートルール」（情報モラル教育）を徹底する。
- ・相談室を積極的に活用し、専門家の助言や相談活動、ケース会議を通して、いじめや不登校に対する支援を臨機応変に行う。
- ・児童の体位、体力の結果分析し、楽しい体育授業を工夫したり、運動機会を確保したりして、体力の向上に努める。
- ・けがや病気、事故や災害、感染症等から、自らの命を守る保健安全教育を行う。

- ①「早寝早起き朝ごはん」児保90%
- ②「我が家のスマートルール」児保85%
- ③「体力づくりに取り組んだ」児90%
- ④「健康や安全に気をつけている」児90%

「開かれた信頼される学校」

- ◎郷土愛を育むふるさと教育の推進
- ◎保幼小中連携教育の推進
- 情報共有による地域との協働
- 積極的な情報発信
- 危機管理体制の見直し

- ・地域人材や資源を活用した学習、公民館や学校ボランティアとの連携を通して、ふるさとへの関心や愛着を高める。
- ・こども園や保育園、中学校との交流や情報交換を通して、児童の不安やつまづきに対し、連携した取り組みを行う。
- ・見守り隊やPTAと協力して、登下校の安全指導と危険箇所の改善を図る。
- ・学年だよりやホームページで積極的な情報発信を行う。
- ・安全点検や避難訓練等を通して、危機管理体制の見直しを行う。

- ①「ふるさとの良さがわかった」児95%
- ②「こども園や地域との交流」学期2回以上
- ③お便りやHPで「学校の取組がわかる」保90%

【業務改善のための取組】：○校務分掌の適正化 ○校務支援システム活用による事務処理の効率化 ○会議の時短とペーパーレス化 ○毎週水曜日ノーマルデーの遵守 ○年休の計画的取得